

各位

株式会社富山第一銀行

小川建設株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

当行（頭取 野村 充）は、小川建設株式会社（代表取締役 小川 節雄）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要




契約締結日	2023年9月28日
借入人	小川建設株式会社
融資金額	50百万円
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 小川建設株式会社

代表者	代表取締役 小川 節雄
本社所在地	新潟県糸魚川市上刈六丁目2番33号
事業内容	セメント工場内作業受託 ・セメント製造過程での石灰石等の投入 ・プラント構内での清掃等 鉱山関連の運送業務 ・採掘場から鉱業所への鉱物運搬 ・プラント構内での運搬 長距離運送（タイヤの運搬）
設立年月日	1966年4月1日

4. SDGs達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	環境負荷低減（CO2排出量削減に向けた取り組み）
インパクトの種類	環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクト・カテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」
関連SDGs	  
対応方針	既存燃費管理を活かした算定CO2排出量の把握および削減に向けた取組み
毎年モニタリングする目標とKPI	大型車両の年間平均燃費の向上 対前年比1%向上 （参考：2022年度 平均1.86km/ℓ）



小川建設株式会社
代表取締役
小川 節雄氏

株式会社富山第一銀行
糸魚川支店長
関口 亮介

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：松島
TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：  **小川建設株式会社**



2023年9月28日

株式会社 富山第一銀行

1. はじめに	2
2. 会社概要	3
(1) 企業概要・社是	
(2) 沿革 / 組織図	
(3) 事業概要 / (4) バリューチェーン	
参考：明星セメント株式会社の事業内容	
3. 事業内容	8
(1) ダンプ輸送 / (2) 重機オペレーター	
(3) 現場作業 / (4) トラック輸送	
(5) 保有車両・重機	
4. 環境管理	11
環境負荷低減に向けた取組み	
5. 職場環境	12
(1) 従業員の声を反映した働きやすい職場づくり活動	
(2) 「安全性優良事業所（Gマーク）」認定	
6. インパクトの特定	14
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) インパクトの特定 / (5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
7. KPIの設定	18
8. 管理体制とモニタリング	20

1. はじめに

富山第一銀行は、小川建設株式会社に対してポジティブ・インパクトファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、株式会社格付投資情報センターの協力を得て、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、小川建設株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組みを支援するため、小川建設株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	小川建設株式会社
所在地	新潟県糸魚川市上刈六丁目2番33号
従業員数	59名（令和5年7月1日時点）
事業内容	セメント工場内作業受託 ・セメント製造過程での石灰石等の投入 ・プラント構内での清掃等 鉱山関連の運送業務 ・採掘場から鉱業所への鉱物運搬 ・プラント構内での運搬 長距離運送 （タイヤの運搬）
調達金額	50,000,000円
調達形態	証書貸付金
資金使途	運転資金
契約期間（モニタリング期間）	2023年9月28日～2028年9月23日

2. 会社概要：（1）企業概要・社是

（1）企業概要・社是

代表者	小川 節雄
本社	新潟県糸魚川市上刈六丁目2番33号
設立年月日	1966年（昭和41年）4月1日
事業内容	セメント工場内作業受託（セメント製造過程での石灰石等の投入、プラント構内での清掃等）、鉱山関連の運送業務（採掘場から鉱業所への鉱物運搬、プラント構内での運搬）、長距離運送（タイヤの運搬）
資本金	20百万円
売上高	473百万円（令和4年12月期ベース）
従業員	59名（令和5年7月1日時点）

社 是

一、和親を旨とし、相互理解の上に立つて事に処すべし、和のなき処発展なし、

一、協力は和によつて生まる、互に助け相携えて事に処すべし、協力なきところ進歩なし、

一、信は誠に通ず、何事も誠を以て事に処すべし、信義と誠実なきところ信用なし、

一、愛は総てに通ず、何事も愛情を以て事に処すべし、愛情なきところ空虚あるのみ、

愛は和に通じ協をもたらし信を得る、

一、和、協、信、愛、以て社是とする、

昭和四十一年四月一日

小川建設株式会社

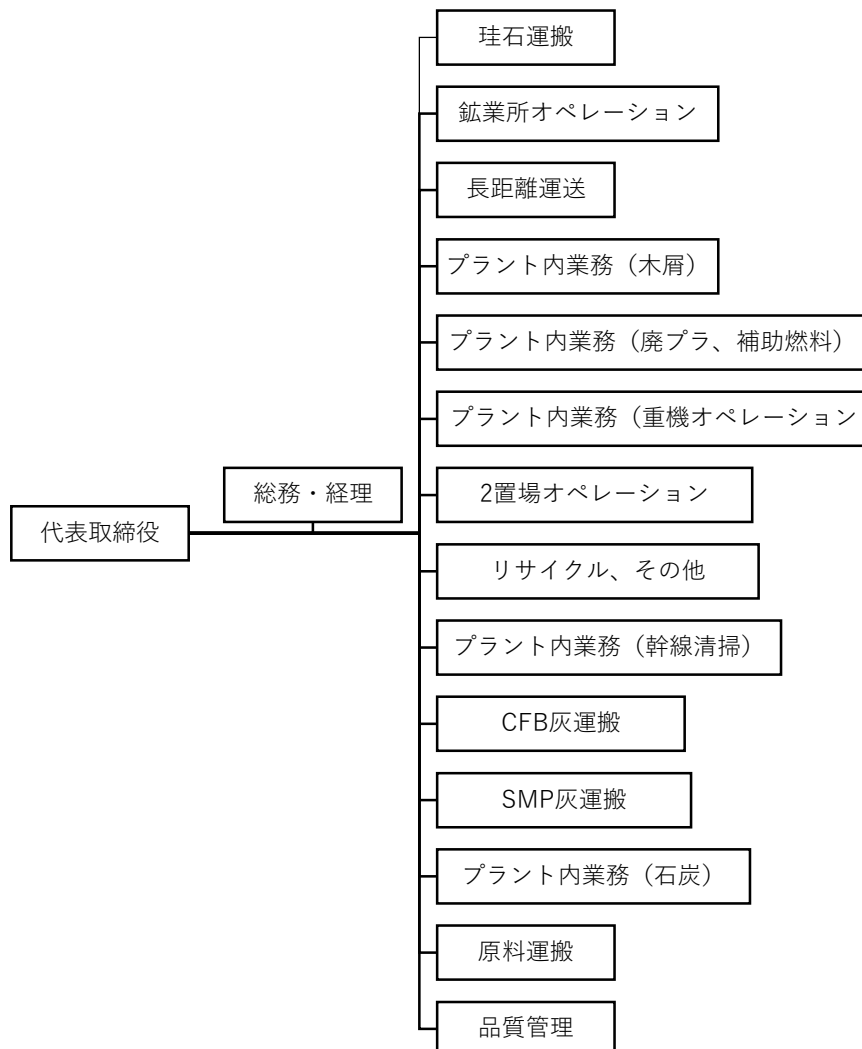
代表取締役 小川 正雄

2. 会社概要：（2）沿革 / 組織図

（2）沿革

年月	概要
1951年	新潟県西頸城郡青海町（現・糸魚川市）にて「小川組」創設（「小川建設設計事務所」）
1953年	「小川建設」に改称
1965年	明星セメント（株）糸魚川工場新設に伴い、糸魚川市上刈に移転 明星セメントでのメンテナンス業務及び運搬業務を開始
1966年	「小川建設株式会社」設立
2001年	土木・建築部門を創和ジャステック建設協業組合（現 創和ジャステック建設（株）） に譲渡。明星セメント内作業・運送部門を中心とした業務へ移行
2019年	タイヤ運送業務（長距離輸送）を開始

（2）組織図



2. 会社概要： (3) 事業概要 / (4) バリューチェーン

(3) 事業概要

- ▶ 明星セメント株式会社（新潟県糸魚川市）のプラント内での仕事が95%以上。
- ▶ セメント原料である珪石の採掘場から工場まで結ばれたベルトコンベアではカバーできない部分で、原料や操業に欠かせない燃料の運搬や処理を担っている。
- ▶ 糸魚川地域の中心産業を担う明星セメントとの取引については、糸魚川工場が新設されて以来、長年にわたり同工場の操業を担い、協力会社として大きな信頼を得ている。
- ▶ 明星セメントの掲げる環境方針（ISO14001）【※1】、品質方針（ISO9001）【※2】、安全保安衛生方針に沿った業務遂行に努めることで、社会インフラへの安定的な貢献を支えている。

【※1 環境方針（ISO14001）】

環境方針

明星セメント株式会社 糸魚川工場はセメント、固化材、フィラー、タンカルおよび石灰石製品の生産を行っているエネルギー多消費型工場である。また、工場の原料部門である田海鉱山では、石灰石、けい石を露天採掘している。

以上の事業活動の実状を踏まえて、下記の方針に基づき環境管理を行う。

1. 基本方針

1. 事業活動に関わる環境影響を常に認識し、経済的、効果的かつ継続的な環境改善および汚染予防を図るため、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加で運用する。
2. 事業活動において、省資源、省エネルギーおよび廃棄物の活用・処理を積極的に推進し、環境保全および循環型経済社会構築に貢献する。
3. 事業活動に関わる環境関連の法規制および当工場が同意したその他の要求事項を遵守する。

2. 重点施策

事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点項目として取組む。

1. 石灰石、けい石を採掘する際には自然環境への影響を配慮し、環境保全に努める。
2. 工場設備の運転、新設、改造および修繕の際には環境に配慮し、環境に及ぼす影響を最小限に抑える。
3. 工場設備を運用面、設備面から見直し、エネルギー効率を改善し、省エネルギーを推進する。
4. セメント品質、運転、地域の環境に影響を及ぼさない範囲で、産業廃棄物および副産物の活用・処理を推進する。また、工場内で発生する廃棄物の分別とリサイクルを通して、外部に処理を依頼する廃棄物量を低減する。

3. 環境方針の取組

1. この環境方針達成のため、環境目的・目標を定め、年に一度工場環境方針と共に見直す。
2. また、この方針を全従業員に周知させるとともに、当工場に関わる関係各社へも周知させ、理解と協力を要請する。
3. この環境方針は、社外にも公表する。

明星セメント株式会社
糸魚川工場長

【※2 品質方針（ISO9001）】

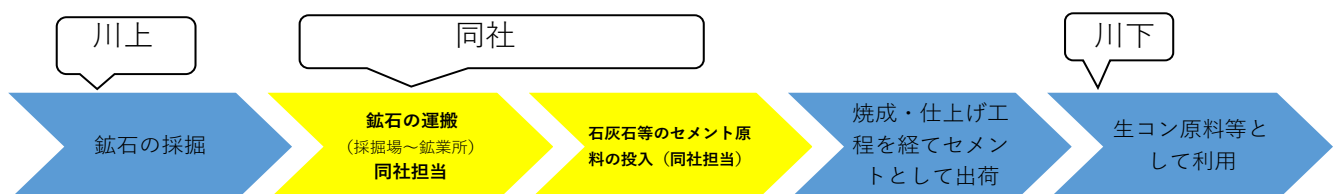
品質方針

明星セメント株式会社 糸魚川工場は、地域社会との共存を図り、優れた製造技術と品質保証体制を確立し、お客様に満足頂ける製品を供給し続けるため、当工場の品質方針を次の通り定める。

1. ユーザーニーズに則った品質の製造を追求し、品質保証を確実に実施する。
2. 法令、規制及び当工場が同意したその他の要求事項を遵守する。
3. 品質マネジメントシステムの有効性の確認及びその継続的な改善に努める。
4. 品質方針、品質目標を定め、年に一度見直す。
5. 品質を確保した上で、リサイクル資源の有効活用を積極的に進める。
6. 品質方針を全従業員並びに外注業者に周知、理解させる。

（出典：明星セメント株式会社HPより）

(4) バリューチェーン（明星セメント（株）セメント製造での業務）



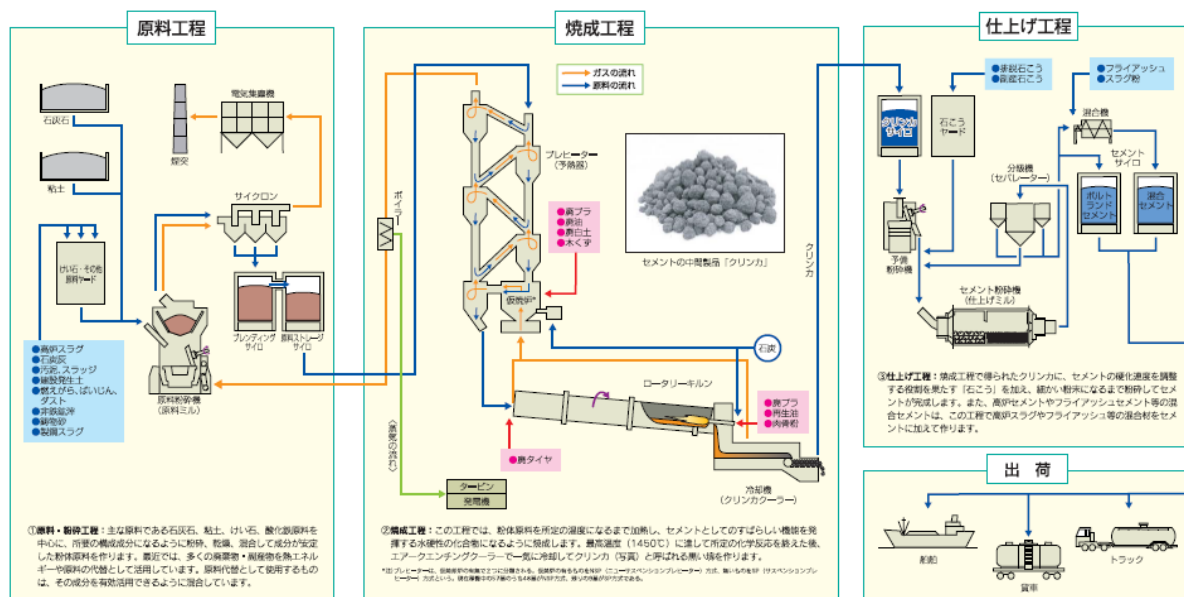
明星セメント株式会社の事業内容



- ▶ 明星セメント株式会社は、原料を採掘している田海鉱業所、製品を製造している糸魚川工場、製品を出荷している姫川港が近距離にあるメリットを最大限に活かし、それぞれをベルトコンベヤで結ぶことで、採掘から出荷までの一貫したラインを形成している。

(出典：明星セメント株式会社HPより)

【セメント事業】



(出典：一般社団法人セメント協会より)

- ▶ 糸魚川市で産出する石灰石と珪石を使用して各種セメントや地盤改良材を製造。

明星セメント株式会社の事業内容

【石灰石事業】

- 新潟県糸魚川地区において、「青海石灰岩」と呼ばれる良質な石灰石鉱床が広く分布しており、当地にて採掘。
- 選鉱された石灰石は、自社用としてはセメント・タンカル用原料として利用。
- 販売用石灰石（鉄鋼用・骨材用等）は、工場の置き場から地下ベルトコンベアによって姫川港から出荷される。出荷先は秋田県から島根県までの沿岸部をはじめ、韓国、台湾にも輸出されている。

（出典：明星セメント株式会社HPより）

【発電事業】

- 1980年から廃棄物を処理する事業を開始し、その後、明星セメントと住友商事（株）で合弁会社（サミット明星パワー(株)）を設立。木質燃料と石炭の混焼により発電し、首都圏の大口需要家に電力を供給するとともに、明星セメント工場にも電力を供給している。
- 太平洋セメント（株）とイーレックス(株)が共同で事業を行っている糸魚川発電(株)が使用する石炭を、安定的に供給している。
- 廃棄物や多品種の化石燃料を使用して、自社工場で使用する電力をまかなうと共に、余剰電力を大口需要家に売電したり、電力を卸している会社に対して燃料を供給。公共性の高い「電力の供給」と「（安定的な）廃棄物処理」で社会に対して大きく貢献している。

（出典：明星セメント株式会社HPより）

【リサイクル資源事業】

- 明星セメントでは各種多くの廃棄物を、セメント製造の工程において安全かつ大量にリサイクル処理している。
- 処理する廃棄物はセメントの原料の一部として利用。可燃性の廃棄物はセメントを焼成するエネルギーの一部として利用し、残った燃え殻についてもセメントの原料の一部として取り込まれる。
- 廃棄物の成分の全てを再利用することができるため、副産物が一切発生しない。
- リサイクル処理している廃棄物は主に火力発電所から発生するばいじん・燃え殻、下水処理場から発生する汚泥や、鉄鋼業から発生する鉱さい、廃プラスチック類、木屑などがあり、この他にも多くの種類の廃棄物を受け入れしている。
- その中でも木屑についてはセメント製造工程でのリサイクル処理だけでなく、木質系バイオマス燃料として、隣接するサミット明星パワー(株)糸魚川バイオマス発電所に供給している。
- ここから発生するばいじん・燃え殻についても、石炭を燃料とした糸魚川発電(株)から発生するばいじん・燃え殻と共に明星セメントでリサイクル処理している。
- 各産業から発生する多種多様な廃棄物をセメントの原料および燃料としてリサイクルし、循環型社会の構築と地球環境の保全に取り組んでいる。

（出典：明星セメント株式会社HPより）

3. 事業内容：（1）ダンプ輸送 （2）重機オペレーター

（1）ダンプ輸送・・・明星セメント株式会社 関連

- 田海鉱業所今井切羽（鉱山）にて採掘された珪石を、鉱業所まで運搬。
- 明星セメント（株）の工場や隣接するバイオマス発電所の燃料として使用される木屑や石炭などをプラント構内で運搬。



（2）重機オペレーター・・・明星セメント株式会社 関連

- 明星セメントのプラント内で、バックホー、ブルドーザー、タイヤショベルなどの大型重機を操縦する業務。
- 鉱業所から運ばれてきたセメント原料となる石灰石を、ベルトコンベアへと続くホッパー内へ投入している。
- また、工場や隣接するバイオマス発電所の燃料として使用される木屑や石炭、廃プラスチックなどの投入も行っている。



3. 事業内容： (3) 現場作業 (4) トラック輸送

(3) 現場作業・・・明星セメント株式会社 関連

- 鉱物資源や化石燃料の使用により汚れたプラント構内の幹線やベルトコンベア下部を、重機や手作業で清掃する業務。



(4) トラック輸送 (売上比率：3%)

- 大型トラックを使用して全国各地へ製品を長距離運搬する業務。
- 2019年より新たに始めた新事業。
- 当地企業からのタイヤ運送の受注が中心。

3. 事業内容：（5）保有設備

（5）保有車両・重機

【トラック車両】

車種	供用年月
日野大型ダンプ（10 t）	H10/5
日野大型ダンプ（10 t）	H16/5
日野大型ダンプ（10 t）	H23/3
日野大型ダンプ（10 t）	H24/3
日野大型ダンプ（10 t）	H26/3
日野大型ダンプ（10 t）	R27/3
日野大型ダンプ（10 t）	R3/8
日野大型ダンプ（10 t）	H30/3
日野ロングダンプ（10 t）	H20/4
日野ロングダンプ（10 t）	H21/3
三菱ダンプ（4 t）	H22/11
日野ダンプ（2 t）	R4/5
日野ウイングトラック	R1/11
合計	13台

【重機】

車種	供用年月
コマツホイールローダ	H27/1
コマツホイールローダ	H28/7
コマツホイールローダ	H30/11
コマツホイールローダ	R2/11
コマツホイールローダ	R2/12
コマツホイールローダ	R5/6
合計	6台

車種	供用年月
コマツ油圧ショベル	H26/9
コマツ油圧ショベル	H29/8
コマツ油圧ショベル	R3/11
コマツ油圧ショベル	R4/3
コマツ超小旋回ミニショベル	H28/3
合計	5台

車種	供用年月
コマツブルドーザ	R2/9
コマツブルドーザ	R3/9
合計	2台

4. 環境管理：環境負荷低減に向けた取組み

<大型車両の燃費管理>

- ▶ 同社では、ドライバーそれぞれが担当する大型車両別に燃費管理を実施し、燃費の把握を行ってきた。
- ▶ 本管理については、現状、燃費の管理・確認のための活用に留まっているものの、今後は既存管理を活かしCO2排出量の把握（※1、※2）まで行うとともに、ドライバーを対象にしたエコドライブ講習を定期的に開催するなど、独自に従業員の環境意識醸成を図っていく考えである。

(※1) 『グリーン経営認証制度』で用いられている【燃費管理表】に準じCO2の把握も行う。

≪CO2排出量＝期間燃料使用量×CO2排出係数≫にて算出

(※2) CO2排出係数：「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量算定に関する省令」（算定省令）、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」（環境省、経産省）

5.職場環境：（1）従業員の声を反映した働きやすい職場づくり活動

（1）従業員の声を反映した働きやすい職場づくり活動

<社内DX化と職場環境の改善に向けた取り組み>

➤ 更なる働きやすい環境づくりに向けて、従業員と一体となった取り組みを継続する。

今いる人財の能力を**最大化**するための

DX社内推進事業

令和4年3月23日
糸魚川市DXセミナー
市内企業取組事例紹介

 **OGAWA CONSTRUCTION**
小川建設株式会社
代表取締役 小川節雄

【DXの定義—小川建設(流)】 OGAWA

DX デジタル
トランスフォーメーション

IT・デジタル技術を用いた

継続的な業務変革

©2020 ogawa construction co.,ltd.

【継続的な業務変革とは】 OGAWA

言い換えると

- ① 事業計画(未来地図)を策定し、実現のために
- ② アナログとデジタルの**両面**を
- ③ 自社に合ったカタチへ**最適に融合**すること
- ④ また常に現状を疑い、**改善し続ける状態**

©2020 ogawa construction co.,ltd.

【変革の種】 OGAWA

① 働き方の見える化、共有

「子供が小さいから残業はしたくない」
「〇曜日は子供の習い事。それ以外は残業できる、したい」
「がっつり稼ぎたい」
など、一人一人の声を集め、見える化して共有

▶ライフスタイルに合わせた働き方の推進
▶不公平感の解消、自立型社員の育成

② 社内ポイント制度

・会社へ貢献してくれる社員へ「感謝の数値化」
(例)会議への参加、自己研鑽にはげむ前向きな人
・どうせなら楽しく仕事に取り組んでほしい

▶社内専用アプリでポイントの見える化、共有や
デジタル看板などに映し出したりできたらいいな

【具体案】
タブレットの導入・活用
▶社内専用アプリの導入

③ 個人のスマホの活用(DX手当)
※高齢の方も多いのでデジタルへの統一は行わない。
目指すはアナログとデジタルの融合

©2020 ogawa construction co.,ltd.

【変革の種】 OGAWA

③ 事務方の能力・効率アップ

今でも十二分の能力だが
より**アナログの良さを生かす**ためのデジタル化を進めることでより広い視野で現場の助けにつながる、皆が気持ちよく仕事ができる

【具体案】
タブレットの導入・活用
▶チャットアプリの導入

③ 各種提出物のデジタル化

・会社に来なくても、いつでも提出できる
・忘れない、無くない
・事務方が気をもまなくて良い
▶提出状況が一目でわかれば忘れていた人が気づく、周りから声がけしてくれる
★チームワークの向上

(例) LINEワークス
チャットワーク
スラックなど

©2020 ogawa construction co.,ltd.

【変革の種】 OGAWA

⑤ 情報発信(採用活動)

・若手社員を中心に彼ら目線で情報発信(試案)
(若者の発想、アイデア、自主性を促す)
★将来のリーダー・幹部育成のため

▶デジタルネイティブといわれる世代に、同世代の社員が**SNSやHP**を駆使して情報発信をすることで採用に繋がりたい

【具体案】
・ホームページの立上げ
・SNSの活用

⑥ 安全会議などのデジタル化

・人が集まらない方が良いような状況(交代勤務で集まらない人向け)に会議の配信・録画などもできるのではないかと
▶④のポイント制度にも関連

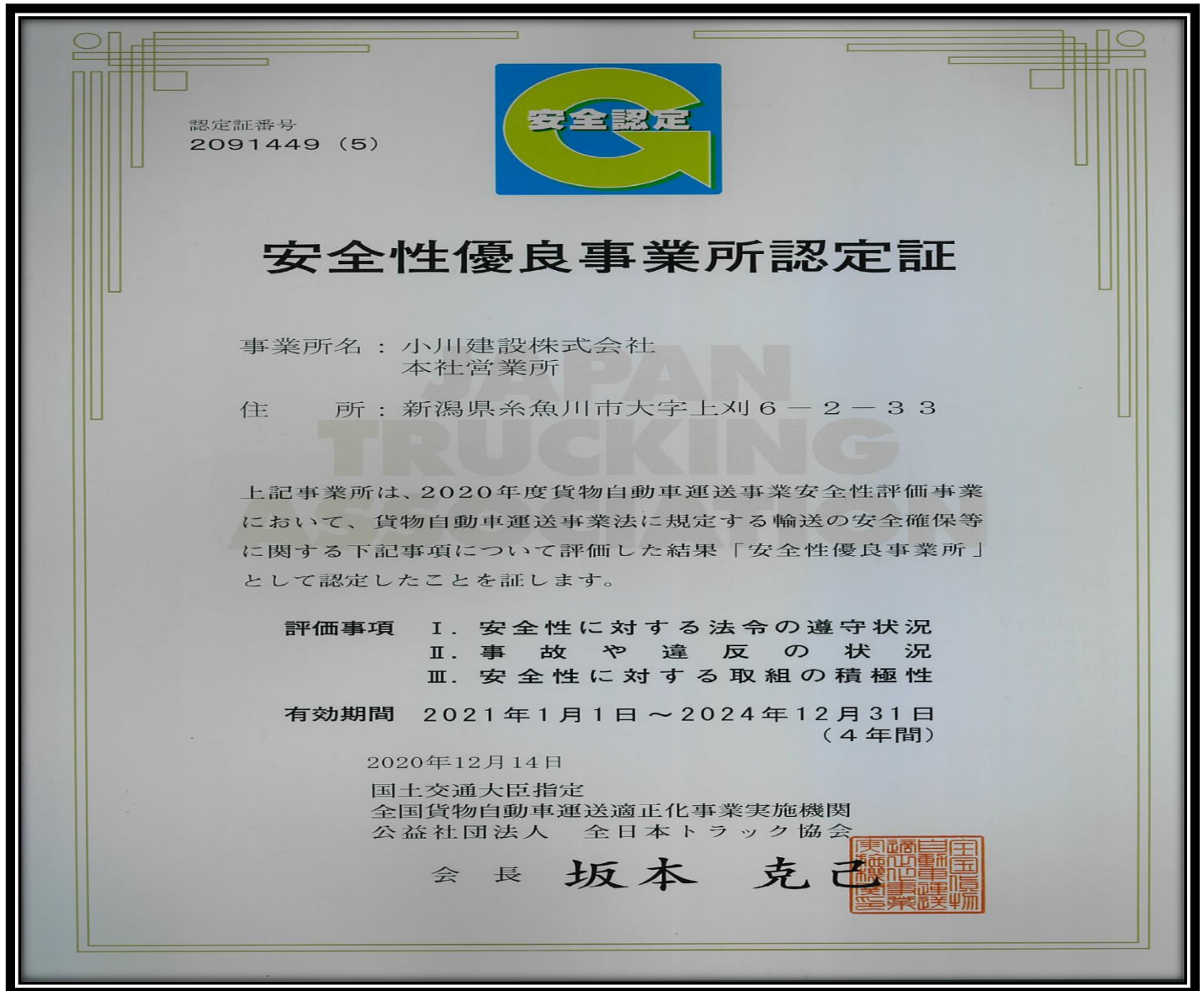
【具体案】
・オンライン配信・録画など

©2020 ogawa construction co.,ltd.

5.職場環境（2）「安全性優良事業所（Gマーク）」認定

<安全性優良事業所（Gマーク）認定>

- ▶ 全従業員を対象にした「安全講習会」の定期的な開催等、指導・教育を通じた従業員の安全管理徹底を図る。



6.インパクトの特定：（1）インパクトレーダーによるマッピング

（1）インパクトレーダーによるマッピング

株式会社富山第一銀行は、小川建設株式会社のバリューチェーン分析等の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

同社の主要な業種については、国際産業標準分類に則り、「道路貨物運送業4923」を適用した。

明星セメント株式会社のプラント内外での業務が、当社業務の95%以上を占めているものの、セメント製造工場内作業については「製造」におけるサポート業務であることから「セメント、石灰及び石膏製造業2394」は適用しない。また、セメント製造関連外業務である「長距離運送」（同3%）、糸魚川市内での市道等の除雪業務（同2%）のインパクトは軽微と判断し、対象業務からは割愛した。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、小川建設株式会社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

■ 同社の事業

国際産業標準分類	インパクトカテゴリー	川上の事業 【0810】		同社の事業 【4923】		川下の事業 【2395】	
		石、砂及び粘土採取業		道路貨物運送業		コンクリート製品、セメント製品及び石膏製品製造業	
		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）		◆				
	食糧						
	住居					◆	
	健康・衛生		◆		◆◆		
	教育						
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー						
	移動手段			◆			
	情報						
	文化・伝統						
	人格と人の安全保障		◆◆				
正義・公正							
強固な精度・平和・安定							
環境	水(質)		◆◆				◆
	大気				◆◆		◆
	土壌		◆◆		◆◆		
	生物多様性と生態系サービス		◆◆		◆◆		
	資源効率・安全性		◆◆		◆◆		◆
	気候		◆		◆◆		◆
	廃棄物		◆		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆		◆	
	経済収束						

6.インパクトの特定：（1）インパクトリーダーによるマッピング

- 同社は明星セメント株式会社（新潟県糸魚川市）のセメント製造関連プラント内外での業務を担っている。①セメント製造工場内作業として、セメント製造過程での石灰石等のホッパー内への投入やプラント構内の清掃等。②鉱山関連の運送業務としては、採掘場から鉱業所への鉱物（珪石）運搬やプラント構内での運搬等を行っている。これらが当社業務の95%程度を占めている。
- 当社のバリューチェーン分析から、川上の事業「石、砂及び粘土採取業」、同社事業（上記②）の「道路貨物運送業」、川下の事業「コンクリート製品、セメント製品及び石膏製品製造業」に対応するインパクトカテゴリーの影響度の検討を行う。
- インパクトマッピングにおいて、特に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ネガティブでは「健康・衛生」、「人格と人の安全保障」、「水（質）」、「大気」、「土壌」、「生物多様性と生態系サービス」、「資源効率・安全性」、「気候」が挙げられる。一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブでは「住居」、「雇用」、「移手段」、「包括的で健全な経済」、ネガティブでは「水」、「健康・衛生」、「雇用」、「水（質）」、「大気」、「資源効率・安全性」、「気候」、「廃棄物」が挙げられる。このうち、当事業と関連性の高いカテゴリーを中心に検討する。
- 同社は、セメント原料である「珪石」の運搬を担っている。そのセメントを原料とするコンクリートは社会資本整備になくなくてはならない商品であり、ひいては国土強靱化や国民の安全・安心を守るためには欠かせないものである。明星セメント株式会社が掲げる品質方針（ISO9001）に沿った製品製造とセメントの安定供給を支える同社業務は、川上・川下の事業における「雇用」、川下の事業における「住居」や川上・同社・川下の事業における「包括的で健全な経済」についてポジティブ・インパクトの増大に貢献していると考えられる。
- 雇用面においては、DX化による職場環境改善に向けた活動を行っている他、従業員の資格・免許取得費用を負担し、意欲ある従業員のスキルアップに向けた支援を恒常的に行っており、働きがいのある職場環境づくりを図るなど、安定雇用を実現し、同社の事業における「雇用」のポジティブインパクトの増大に努めている。また、従業員の安全運転指導・教育を徹底するため、定期的に全従業員を対象にした「安全講習会」の開催や、災害・ヒヤリ事例等の情報共有を行っている。同社のこうした取組みは外部からも評価されており、公益社団法人全日本トラック協会より「安全性優良事業所（Gマーク）」の認定も受けている。今後も同認定を維持していくことで従業員の安全管理に努め、同社の事業における「雇用」のネガティブ・インパクトの抑制に貢献していると考えられる。
- 環境面においては、トラック運搬に伴う排気ガスにより同社事業における「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」のネガティブインパクトが発現すると想定される。
今後は、現状行っている「大型車両の燃費管理」を活用した①CO2排出量の算出と②それに基づくエコドライブ講習の実施等、新たな取組み目標を設定することで、従業員環境意識を醸成し、上記環境面でのネガティブインパクトの抑制を図っていく必要がある。

6.インパクトの特定： (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール

同社の売上高の大半は日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール6項目のうち、2項目が大きな課題が残る項目、2項目が重要な課題が残る項目、1項目が課題が残る項目、1項目が目標達成した項目である。日本に課題が残る項目が6項目中5項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。



6.インパクトの特定：（4）インパクトの特定

（5）特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

（4）インパクトの特定

以上を踏まえ、同社のインパクトを下記のように特定した。

- **環境負荷低減（CO2排出量削減に向けた取り組み）**
- **働きやすい職場環境の整備**

（5）特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

小川建設株式会社は、代表的な地域産業であるセメント関連事業を牽引する明星セメント株式会社を主力受注先としている。社会インフラへの寄与や産業廃棄物再利用などの環境保全にも寄与するセメント関連事業において、明星セメント株式会社の工場内外業務の一端を担っている。

地域の人口動態からみて人材不足が課題となる中、同社の人材の維持・育成・増加を図る取組みで、その業務受託体制を維持することは社会面・経済面への貢献が大きいと判断した。

特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。今回特定したインパクトは「**環境負荷低減（CO2排出量削減に向けた取り組み）**」「**働きやすい職場環境の整備**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**環境負荷低減（CO2排出量削減に向けた取り組み）**」では「1.地域経済の持続的な成長」「3.環境保全」という観点で、「**働きやすい職場環境の整備**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取組みの支援を目指す。

7.KPIの設定

① 環境負荷低減（CO2排出量削減に向けた取り組み）

- ・既に実施している大型車両別の燃費管理を用いて、CO2排出量の把握まで行うとともに、ドライバーを対象にしたエコドライブ講習を定期的で開催するなど、独自に従業員の環境意識醸成を図っていく。

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「資源効率・安全性」「気候」
関連するSDG s	  
対応方針	既存燃費管理を活かした算定CO2排出量の把握および削減に向けた取組み
K P I	大型車両の年間平均燃費の向上 対前年比1%向上 (参考：2022年度 平均1.86km/ℓ)

7.KPIの設定

②働きやすい職場環境の整備

- ・同社では、従業員の安全運転指導・教育を徹底するため、定期的に全従業員を対象にした「安全講習会」を開催する等の取組みにより、「安全性優良事業所（Gマーク）」認定も取得している。引き続き、従業員の安全管理に努めていく。
- ・従業員の業務に関連する資格・免許取得費用を貴社が負担するなど、意欲ある従業員のスキルアップ、担当できる業務の幅を広げるキャリアアップに向けた支援を継続していく。
- ・有給休暇の取得しやすい環境づくりに努めるなど、従業員のワークライフバランスに配慮した職場環境整備を継続することで、人材の維持と増加に努めていく。
- ・同社の雇用におけるネガティブインパクトの抑制とポジティブインパクトの拡大に向けた上記の取組みにより、当地基幹産業（セメント関連事業）を支える体制の維持を図っていく。

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるネガティブインパクトの抑制 社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	  
対応方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員の安全管理徹底に向けた取組み 2. 従業員の免許・資格取得の推進 3. 働きやすい職場環境づくりへの取組み 4. 1～3を通じて、人材の維持・増加に努め、地元の基幹産業（セメント関連事業）を支える体制の維持を図っていく
KPI	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「安全性優良事業所」認定維持 2. 従業員の取得資格・免許の前年比増加（実績開示） 3. 有給休暇の年間平均取得日数を16日以上にする（実績開示） <p>【※前年度実績15.4日、2020年度全国平均10.1日】</p>

8.管理体制とモニタリング

① インパクトの管理体制

同社は、小川社長を中心としてサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、総務・経理課が中心となり、管理・達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 小川 節雄
管理責任者	代表取締役 小川 節雄
管理部署	総務・経理課

② モニタリング方法

本ポジティブインパクトファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、富山第一銀行と同社とで定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は、少なくとも年1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。尚、経営環境の変化などにより、KPIを変更する必要がある場合は、富山第一銀行と同社が協議の上、再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が小川建設株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMAキラリ7F）

TEL (076) 423-3871